

保全工事共通仕様書
機材及び工法の品質判定基準
仕様登録集
令和5年版

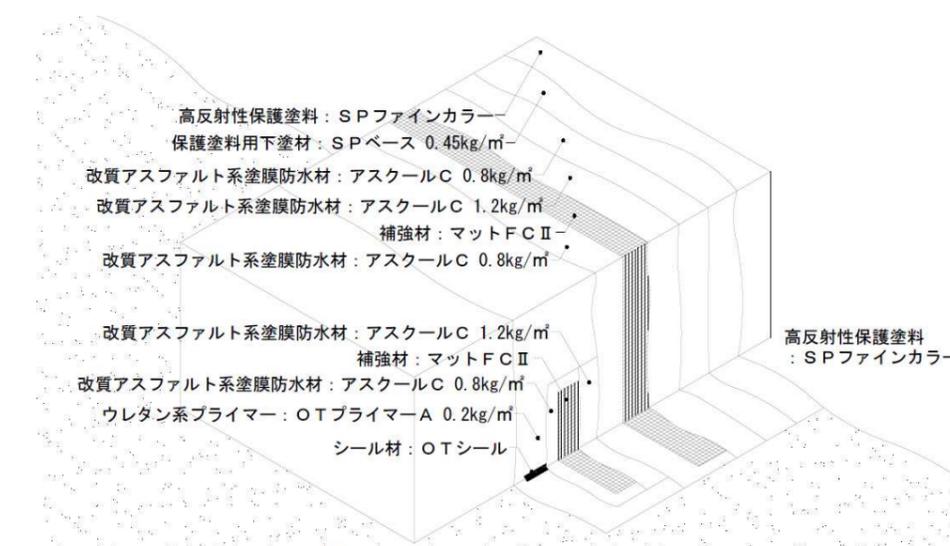
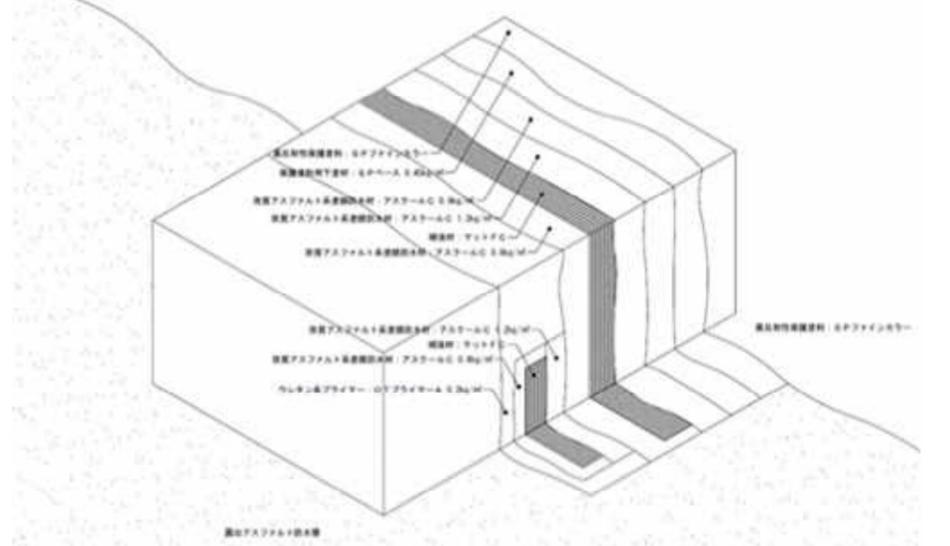
正 誤 表

令和6年1月17日



UR都市機構

項目・項	(正)				(誤)			
仕様登録集 第一章 指定工法編 4. 改質アスファルト系塗膜防水工法（架台回り） P. 400	塗膜防水工事	記入内容	登録製造所名	2	塗膜防水工事	記入内容	登録製造所名	2
	改質アスファルト系塗膜防水工法		田島ルーフィング(株)	9	改質アスファルト系塗膜防水工法		田島ルーフィング(株)	9
	I. 使用材料				I. 使用材料			
	材料名	規格	荷姿	用途	材料名	規格	荷姿	用途
	アスクールC	20kg/セツト (A 剤 : 5kg、B 剤 : 15kg)	缶	改質アスファルト系塗膜防水材	アスクールC	20kg/セツト (A 剤 : 5kg、B 剤 : 15kg)	缶	改質アスファルト系塗膜防水材
	<u>マットFCII</u>	1,050mm×50m (カット品 : 200mm×50m)	巻	不織布シート	<u>マットFC</u>	1,050mm×50m (カット品 : 200mm×50m)	巻	不織布シート
	OTプライマーA	16kg	缶	プライマー (コンクリート素地又はポリマーセメント系下地、ウレタンゴム系下地)	OTプライマーA	16kg	缶	プライマー (コンクリート素地又はポリマーセメント系下地、ウレタンゴム系下地)
	SPベース	8kg	缶	仕上塗料	SPベース	8kg	缶	仕上塗料
	SPファインカラー	18kg	缶		SPファインカラー	18kg	缶	
	II. 防水工法				II. 防水工法			
工程	材料名	使用量/m ²	工法	工程	材料名	使用量/m ²	工法	
1	OTプライマーA	コンクリート素地又は ポリマーセメント系下地 ウレタンゴム系下地 0.2kg	はけ塗り又はローラー塗り	1	OTプライマーA	コンクリート素地又は ポリマーセメント系下地 ウレタンゴム系下地 0.2kg	はけ塗り又はローラー塗り	
2	増張り (入隅部 アスクール C/0.8kg+ <u>マ</u> <u>ットFCII</u> +アスクール C/1.2kg)	-	-	2	増張り (入隅部 アスクール C/0.8kg+ <u>マ</u> <u>ットFC</u> +アスクール C/1.2kg)	-	-	
3	アスクールC	0.8kg	はけ塗り又はローラー塗り	3	アスクールC	0.8kg	はけ塗り又はローラー塗り	
4	<u>マットFCII</u>	-	-	4	<u>マットFC</u>	-	-	
5	アスクールC	1.2kg	はけ塗り又はローラー塗り	5	アスクールC	1.2kg	はけ塗り又はローラー塗り	
6	アスクールC	0.8kg	はけ塗り又はローラー塗り	6	アスクールC	0.8kg	はけ塗り又はローラー塗り	
7	SPベース	0.45kg	はけ塗り又はローラー塗り	7	SPベース	0.45kg	はけ塗り又はローラー塗り	
8	SPファインカラー	0.15~ 0.3kg	はけ塗り又はローラー塗り	8	SPファインカラー	0.15~ 0.3kg	はけ塗り又はローラー塗り	
※ルーフィングによる増張りの場合は、工程2に代わりポリマリットGL・ポリマリット25・ガムクールFXのいずれかとする。断熱材上は、ポリマリット25の使用を不可とする。				※ルーフィングによる増張りの場合は、工程2に代わりポリマリットGL・ポリマリット25・ガムクールFXのいずれかとする。断熱材上は、ポリマリット25の使用を不可とする。				

項目・項	(正)				(誤)				
仕様登録集 第一章 指定工法編 4. 改質アスファルト系塗膜防水工法（架台回り） P. 401	塗膜防水工事	記入内容	登録製造所名	3	塗膜防水工事	記入内容	登録製造所名	3	
	改質アスファルト系塗膜防水工法		田島ルーフィング(株)	9	改質アスファルト系塗膜防水工法		田島ルーフィング(株)	9	
<p>III. 納まり図</p>  <p>高反射性保護塗料：SPファインカラー 保護塗料用下塗材：SPベース 0.45kg/m² 改質アスファルト系塗膜防水材：アスクールC 0.8kg/m² 改質アスファルト系塗膜防水材：アスクールC 1.2kg/m² 補強材：マットFCⅡ 改質アスファルト系塗膜防水材：アスクールC 0.8kg/m² 改質アスファルト系塗膜防水材：アスクールC 1.2kg/m² 補強材：マットFCⅡ 改質アスファルト系塗膜防水材：アスクールC 0.8kg/m² ウレタン系プライマー：OTプライマーA 0.2kg/m² シール材：OTシール</p> <p>高反射性保護塗料：SPファインカラー</p> <p>露出アスファルト防水層</p> <p>施工要領</p> <ol style="list-style-type: none"> プライマーの塗布 下地乾燥、清掃状態を確認後、OTプライマーAを、希釈せず原液のまま刷毛またはウールローラーを用いて均一に塗布する。 入隅部の増張り アスクールC/0.8kg+<u>マットFCⅡ</u>+アスクールC/1.2kgの手順で入隅部の増張りを行う。<u>マットFCⅡ</u>は平場部に100mm以上、立上り部に100mm以上張り掛ける。 シートによる増張りの場合、300mm幅程度のポリマリットGL（表面フィルムを炙る）・ポリマリット25・ガムクールFXまたはFX-33を平面部と立上り部に均等に貼り付ける。増貼り相互の重ね幅は100mm以上とする。 塗膜防水材の攪拌 ポリバケツの丸型容器等に、所定の配合比に従ってA剤、B剤の順で移し入れ、電動攪拌機で色が均一になるまで攪拌する。 ・配合比（1:3） ・標準攪拌時間：2分間 ・標準可使時間：50分～70分（25℃） 塗膜防水材の塗布及び補強材の張付け 架台部および平面部150mm以上の範囲にアスクールCを塗布して、補強用の<u>マットFCⅡ</u>を浮きのないよう下地になじませながら貼り込む。その際<u>マットFCⅡ</u>のジョイント重ね幅は100mm以上とする。その後、<u>マットFCⅡ</u>の目をつぶすようにしてアスクールCを塗布する。 塗膜防水材の塗布 3時間程度経過した後、さらにアスクールCを塗布する。 SPベースの塗布 アスクールCの硬化を確認した後、SPベースを砂骨ローラーで均一に塗布する。 仕上塗料の塗布 SPベースの乾燥を確認した後、保護塗料を刷毛又はウールローラーで均一に塗布する。 					<p>III. 納まり図</p>  <p>施工要領</p> <ol style="list-style-type: none"> プライマーの塗布 下地乾燥、清掃状態を確認後、OTプライマーAを、希釈せず原液のまま刷毛またはウールローラーを用いて均一に塗布する。 入隅部の増張り アスクールC/0.8kg+<u>マットFC</u>+アスクールC/1.2kgの手順で入隅部の増張りを行う。<u>マットFC</u>は平場部に100mm以上、立上り部に100mm以上張り掛ける。 シートによる増張りの場合、300mm幅程度のポリマリットGL（表面フィルムを炙る）・ポリマリット25・ガムクールFXまたはFX-33を平面部と立上り部に均等に貼り付ける。増貼り相互の重ね幅は100mm以上とする。 塗膜防水材の攪拌 ポリバケツの丸型容器等に、所定の配合比に従ってA剤、B剤の順で移し入れ、電動攪拌機で色が均一になるまで攪拌する。 ・配合比（1:3） ・標準攪拌時間：2分間 ・標準可使時間：50分～70分（25℃） 塗膜防水材の塗布及び補強材の張付け 架台部および平面部150mm以上の範囲にアスクールCを塗布して、補強用の<u>マットFC</u>を浮きのないよう下地になじませながら貼り込む。その際<u>マットFC</u>のジョイント重ね幅は100mm以上とする。その後、<u>マットFC</u>の目をつぶすようにしてアスクールCを塗布する。 塗膜防水材の塗布 3時間程度経過した後、さらにアスクールCを塗布する。 SPベースの塗布 アスクールCの硬化を確認した後、SPベースを砂骨ローラーで均一に塗布する。 仕上塗料の塗布 SPベースの乾燥を確認した後、保護塗料を刷毛又はウールローラーで均一に塗布する。 				